

旭川市PTA研究大会

11月19日(日)、旭川市PTA研究大会が、地場産業振興センター・神楽公民館を会場に行われました。第1部の講演では、「今こそ、学校・家庭・地域の絆を深めよう!」を演題に、講師の長田徹氏からこれからの教育に必要な「自ら学ぶ人を育む」の視点に立ったお話がありました。講演途中には、日常の子どもの課題場面が設定され、隣同士でグループを作り、役割分担をしながら子どもの内発的な動機づけにつながる声かけについて考える演習もありました。また、大人のあり方として、単にかっこいい姿だけではなく、一生懸命な姿、魅力ある姿を地域で見せていくことが、子どもの夢の後押しにつながるというお話に、これまでの大人としての振る舞いを見直すいい機会となりました。さらに、講師自身による東日本大震災の被災者としての体験を通じ、自分たちの力で立ち上がる子どもたちの姿や思いが紹介され、涙を流す方も多く、参加者の胸を打つ素晴らしい内容でした。

第2部の部会では、コミュニケーションの領域で「ヒップホップダンス」に参加しました。講師の方の丁寧で楽しく愉快的指導に、ダンスの楽しさを味わいながら動きを習得でき、曲に合わせて楽しく踊ることができました。帰宅後、さっそく娘に教えてしまうほど、個人的には一押しの部会でした。改めて、保護者として今後の子育てに役立つことをたくさん学ばせていただくことができ、感謝いたします。(文:小保護者O)

さくら

旭川市立旭川第五小学校

桜岡中学校

PTA広報誌 第2号

(通算27号)

平成30年3月発行

☆小2学級レク☆

9月3日(日)、台風の影響もなく、天候に恵まれ、気持ち良いくらいの秋の空。カムイの杜公園に17時に集合し、石山農園さんのおにぎりセットと各家庭で持ち寄ったお弁当による「夕ごはん」でレクが始まりました。参加者は、小学2年生6人とその家族・先生を含め全員で23人。

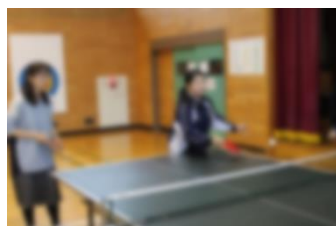
食べ終えた子どもは公園の遊具で遊び、その様子を眺めながら先生と親はゆっくり過ごしました。

18時となり、「カエル教室」の行われる体験学習室へ移動。他の参加者も含め約50人。講師の方は、旭山動物園の白木雪乃さんで、カラフルで見やすい資料や実際のカエルを用いながら、カエルを捕獲する際の注意点、アライグマとタヌキの違いなどの楽しいトークに、子どもも親もすっかり引き込まれてしまいました。いよいよカエル捕獲のため、ヘッドライト、ゴム手袋を装着。公園内から富沢小周辺を約1時間かけてゆっくりと散策しました。最初はなかなか見つからず、講師の方が「19時頃から湿気が多くなり、どんどん見つかるかも知れませんよ。」と話していると、草むらにいた1人の子どもから「いました!」との声。それからの子どもたちは、ハンターのように草むらだけではなく岩のすき間などの捕獲ポイントで大搜索。レク前は「そんな大きなカエルは気持ち悪くて嫌。」と言っていたわが子も、宝物探しのようにたくさん捕まえていました。最後に、参加者全員で玉入れのように数え、多い子どもで17匹、全部で122匹。そのカエルを3つの袋に分けて入れ「カエル教室」は終了し、レクも解散となりました。帰りの車内、たくさん捕まえたことを喜ぶわが子に対し、「捕獲したカエルはどうするの?」と質問した子どもに、講師の方が「冬眠状態にして眠らせ、なるべく苦しめないようにしてから焼却し土に還す。」と答えていた話をしました。子どもは「かわいそうだから捕まえない方がよかったのかな。」とつぶやいていました。白木先生は、今回の体験を通じ、「アズマヒキガエルは、おもしろ半分で人によって北海道に連れて来られ、天敵がいなかったため石狩川で繁殖し続けた結果、生態系を乱しており、自然を守るためには、かわいそうでも人の手によって駆除するしかない。ぜひ他の人にも伝えて欲しい。」と言っていました。

今回のレクは楽しいだけではなく、子ども、そして親にとっても自然環境を考える貴重な体験となりました。(文:小保護者F)



☆中1学級レク☆



10月27日(金)、放課後体育館に集合し、親子対抗卓球大会を行いました。卓球経験者はおらず、ネット張りやラケット選びといった準備の段階から、和気あいあいと進んでいきました。

ルールは、先生から教えていただき、親子総当たり戦で競技スタート。なかなかラケットに球が当たらなかったり、台に入らなかったりと思うようにいきませんが、慣れてくると少しずつラリーが続くようになり、大盛り上がりでした。普段やったことのない競技をし、先生、生徒の皆さん、保護者の皆さんとの楽しい時間を過ごし、有意義なレクリエーションとなりました。企画してくださった役員さん、先生、保護者の皆さん、生徒の皆さん、ありがとうございました。

(文:中保護者I)

☆小3・4学級レク☆

9月23日(土)、大人4人子ども5人で旭川市科学館サイバルに行きました。

お天気もよく絶好のお出かけ日和。まずは常設展示コーナーへ。子どもたちは入口近くのボールコースターに夢中。思いのほか空いていたのでたっぷり遊べました。地震体験では、子ども5人だけで「震度5」を初体験！宇宙体験コーナーでは、尻込みする子どもたちを前に、先生が先頭を切って宇宙ゴマに挑戦し、勇気の湧いた4年生2人も後に続けました。その後、いつもなかよしの3・4年生は、みんなで-30℃の世界や真っ暗な部屋、進化の部屋、3Dメガネをかけての映像など一通り満喫。途中、特別展示のコーナーへ移動し、化石作りのワークショップに参加。キレイな石を選んで顕微鏡をのぞいたり、アンモナイトを作ったりと、大人も子どもも夢中になりました。

続いて、屋上の天文台へ移動。あいにく雲が出ていましたが、2台の大型望遠鏡をのぞき、わずかな晴れ間に太陽の黒点を観測。宇宙へ想像が広がった瞬間でした。2階の展示室では、いろいろな標本、実験工作などをお昼頃まで見学しました。

昼食は、サイバル近くのハンバーグ屋さんへ。先生を中心にみんなでテーブルを囲み、和気あいあいとおしくいただきました。

食後に解散の予定でしたが、子どもたちは遊び足りなく北彩都の公園へ移動。クライミングウォールの遊具などでいつ終わるともしれない鬼ごっこ。汗をかくほど走り回り、元気に夕方まで遊びきりました。子どもたちが遊んでいる間、母たちも尽きることないおしゃべりに花が咲きました。

朝から夕方までたっぷり遊んだ学級レク、子どもたちも大人もますます仲良くなれた1日でした。(文：小保護者Y)



☆小5・6学級レク☆



7月22日(土)、お昼に活動スペースに集合。みんなで昼食をとり、食後は「釣りゲーム」で使う竿(さお)作り。チラシを細く巻いた竿に糸をつけ、糸の先にクリップで作った針を結ぶという作業を、各自思い思いに行っていました。

次に、体育館へ移動し、まずはミニバレー。6チームに分かれトーナメント形式で試合をしました。10点先取でしたが、どの試合も予想以上に白熱し接戦の連続。決勝戦と3位決定戦は20点先取で、さらに白熱した試合となりました。



最後は「釣りゲーム」。ビニールシートの上に用意された色々なお菓子や景品用のクジを、自作の竿で釣り上げるもので、クジには、ウサギスタンプの押された『ハズレ』と、番号が書いてある『当たり』があり、コンパスや色鉛筆、今流行しているハンドスピナーなどの景品が当たるようになっていました。どの子も目を輝かせながらお菓子やクジを釣り上げ、大人も先生も一緒に楽しみました。

みんなで楽しくご飯を食べ、ゲームの道具を作り、バレーで白熱し、釣りを楽しむ・・・全員汗だくになりましたが(笑)、とても有意義な時間を過ごすことができました。企画して下さいった役員さん、本当にありがとうございました。(文：小保護者S)

学級研修会(小5・6)



12月1日(金)、参観日の後、家庭学習をテーマに学級研修会を開催しました。

各家庭での最近の学習状況は、家庭学習強化期間中でもあり、各学年相応の家庭学習時間は全員行っていたとのことでした。

時間帯は、帰宅後すぐ行う家庭もあれば、寝る前にやる家庭、また、習い事のある曜日で異なる家庭もありました。また、子どもが自分でやる気になった時など、各家庭でバラバラですが、いつやったらいいかわからないと思っている子どももいるようで、この時間だと取り組めるという「各家庭にあったスタイルを見つけることが必要」という結論になりました。(文：小中保護者T)

編集後記

保護者、地域の皆様、日頃より各行事へのご参加等に感謝致します。

今回は、学級レクを中心にまとめました。どのレクも楽しそうですね。

皆様、取材等へのご協力ありがとうございました。



旭川第五小学校6年生
桜岡中学校3年生のみなさん

卒業おめでとうございます。